

design × management × Okinawa

デザイン × 経営 × おきなわ

～経営にデザインを取り入れる理由、その可能性とは～

◆ デザイン経営

経済産業省及び特許庁より、日本企業の経営に「デザインの視点や思考を取り入れ、新たなイノベーションを生み出す力・国際競争力を高めよう」という「デザイン経営」宣言が公表されました。デザイン経営とは、デザインを経営資源として活用し、顧客起点による戦略立案、ブランド力とイノベーション力を向上させ、企業の魅力や価値の創造、企業競争力、生産性の向上を実現する手法のことです。

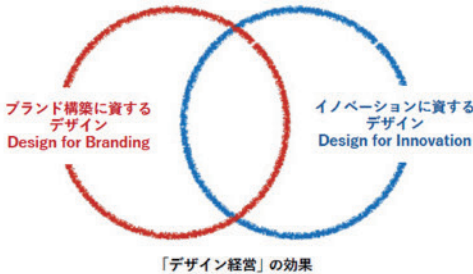
これまでデザインは大きな資本力を持つ大企業が導入しやすいと考えられていましたが、経営陣の指揮やトップダウンによる指示が欠かせないこと、さらには地域文化の発信主体といった観点から、中小企業の方が優位性を持つ

「デザイン経営」の効果＝

ブランド力向上+イノベーション力向上

＝企業競争力の向上

「デザイン経営」は、ブランドとイノベーションを通じて、企業の産業競争力の向上に寄与する。



つという見方もあります。新型コロナウイルス感染症対策のため外出自粛が続いており、インターネット通販の増加や消費者の動向・マインドが大きく変化している中、県内企業は国内・海外との競争を勝ち抜き顧客に真に必要な存在となる必要があり、顧客訴求力を高め、企業価値を向上させる新しい取組としてデザイン経営が注目されています。

◆ 狭義のデザインと 広義のデザイン

デザインの定義については、時代や場面によって流動的な部分もあります。が、主に「狭義のデザイン」と「広義のデザイン」の2つに分類されます。モノ

の形、色、模様、見た目を整えるもの（製品のパッケージの装飾、ユーザーインターフェースなど）として認識されることが多い狭義のデザインに対して、広義のデザインとは顧客体験（UX）を含む製品・サービス全体を対象とします。デザイン経営におけるデザインは「広義のデザイン」と捉えられ、企業が大切にしている価値を実現しようとする想いを表現する営みを指し、ビジネスから私たちの生活や社会に至るまで、その仕組みを整えるものと考えられています。

◆ デザイン経営 セミナー

内閣府沖縄総合事務局経済産業部では、デザイン経営の手法や事例を県内企業やデザイナー等へ周知し、企業の付加価値向上と競争力の強化、企業課題解決のツールとしてデザインの理解を深めることを目的に、「デザイン経営セミナー」を経営にデザインを取り入れる理由、その可能性とはを2021年2月2日に開催しました。本セミナーでは、事業者、デザイナー、支援機関など約50名（オンライン視聴：約130名）が参加し、デザイン経営についての基調講演、デザイン経営に取り組み県内企業によるトークセッションが行われました。

「デザイン×経営×おきなわ」
デザイン経営セミナー～経営にデザインを取り入れる理由・その可能性とは～
2021.2/2(水) 14:00～16:30 (開場 13:30)
会場：沖縄県立博物館・美術館2階講堂 098-866-5853 7階13
定員：50名 (ご入場にお申し込み・お申し込みは先着順となります)
主催：内閣府沖縄総合事務局 TEL 098-866-1731





基調講演では、(株)ロフトワークの二本柳友彦氏より「実例から見るデザイン経営」と題して、デザイン経営が求められる背景、社会背景やニーズの変容、中小企業がデザイナーと共創する座組や北海道地域におけるデザイン経営実践プロセス事例の紹介がありました。

具体的には、デザイン経営の必要性や効果について、1970年頃までの作れば売れるというプロダクト・アウト、1970年以降の市場の需要分析を踏まえたマーケット・イン、そして、現代では一般的な商品・サービスは飽和状態であり、顧客ニーズの掘り起こしと独自性の創造・伝達が必要とされるネクストマーケット・インについて説明があり、その取組手法としてデザイン経営が効果的とのお話がありました。

トークセッションでは、「経営×デザイン なぜ競争力が向上するのか」をテーマとして(株)ナノ・アソシエイツ代表取締役浅雄一氏のファシリテーションのもと、(株)プラザハウス代表取締役社長平良由乃氏、チューイチヨーク(株)代表取締役豊田規秀氏及び二本柳氏にご登壇いただき、「デザイン経営が社内や顧客にもたらしたものの」、「デザイナーとのコミュニケーション」、「デザイン経営とまちづくり」など、各々の立場からデザイン経営の取組についてお話しいただきました。

登壇者からは、デザインは、コストではなく投資として費用対効果を踏まえパートナーとしてデザイナーと一緒に仕事をするというお話等があり、参加者から多くの共感をいただきました。

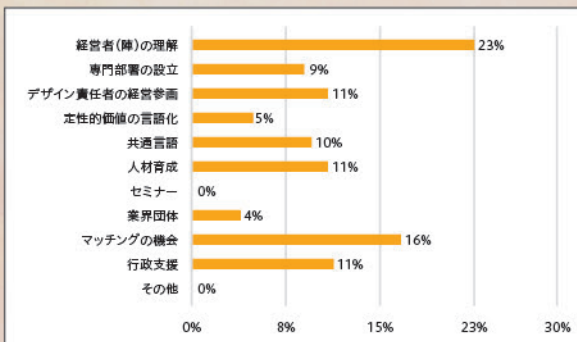


トークセッションの
YouTube動画はこちら
からご覧いただけます。



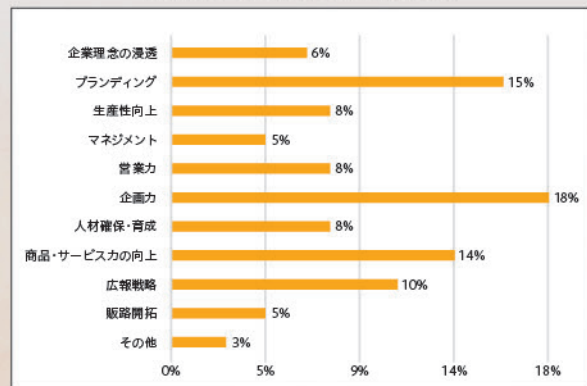
お問合せ先
経済産業部 商務通商課
☎098-866-1731

組織においてデザイン経営を取り入れていくためには
どのようなものが必要と思われますか(回答数:81)



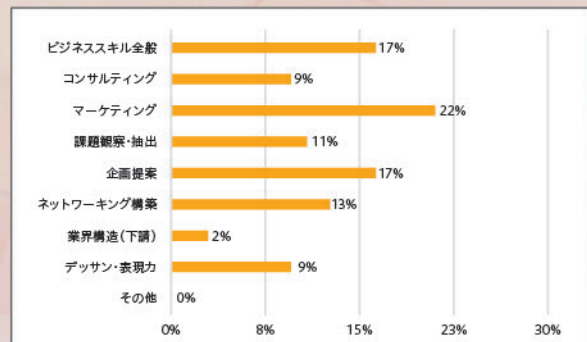
●経営者(陣)の理解が23%と最も高く、次いで、マッチングの機会が16%となっており、県外に設置されているデザインセンターのような機能(普及啓発、マッチング等)が沖縄にも必要では、との声もあった。

意識している課題(企業) (回答数:78)



●企業が意識している課題として「企画力」を挙げる企業が全体の18%と多く、次いで「ブランディング」15%、「商品・サービスの向上」14%を課題とする企業が多い。

意識している課題(デザイナー) (回答数:46)



●マーケティング22%、ビジネススキル全般17%、企画提案17%と、企業と協働する際に自身のビジネススキルに不安を感じているデザイナーが多い。

参考(セミナーアンケート結果)